

## コミュニケーションとマザーグース

木田 裕美子

## Mother Goose used for Communication

KIDA, Yumiko

## Abstract

When people communicate with others, they try to find exact words, phrases and expressions that could deliver what they really want to say. When they sometimes find it difficult to speak direct from their hearts, they use simile, such as “her hair was as white as snow”. Or people cite the words and phrases from the Bible, Shakespeare, Greek and Roman myths, and Mother Goose.

This paper will illustrate how the people use Mother Goose to communicate with others in a nice way.

*Keywords: Mother Goose, simile, communication*

## はじめに

人は通常音声や文字の形となったことばを用いて、意志の疎通を図る。生まれてから言葉を覚えるまで、泣き声、笑い声、しぐさで、周囲にいる身近な人たちに自分の意志を伝える時期がある。その過程を経ながら、巧みに、自分の意志を聞き手に伝える術を学んでいく。ことばで表現しにくい場面や状況に出会う場合がある時には、話し手と聞き手の間で共有している「もの」を引き合いにだすことによって、共通の理解を得ることができる。

O.ヘンリーの短編小説に、『キャロウェイの暗号』（原題：Calloway's Code）がある。次に、内容を簡単に紹介する。

日露戦争当時、日本に派遣された特派員 Calloway から記事が本社に届く。書かれている言葉は、どうも暗号らしいが、新聞社には暗号解読機なるものもなく、ベテランの記者たちが頭をひねる。そこに一番年下の Vessey という記者が登場し、しばらく、メモを見ていて、10分あれば解読できると宣言。きっかり15分後に意味の通る英文に直した。確かに、暗号ではあったが、その鍵は、“It's simply newspaper English,” explained Vessey. “I've been reporting on the Enterprise long enough to know it by heart. Old Calloway gives us the cue word, and we use the word that naturally follows it just as we 'em in the paper. Read it over, and you'll see how pat they drop into their places. Now, here's the message he intended us to get.” 日本語における枕詞とその後に続く語の関係のようである。これは、Vessey が新聞社内での決まった範囲での用語に熟知していたため、可能であったのである。

ところで、専門用語を解さない一般の英語圏の人々の間の共通の『暗号』は、聖書、シェイクスピアからの言葉、ギリシャ・ローマ神話の内容であろう。また、子供部屋の唄と言われるマザーグースも子供、大人と年代を問わず、コミュニケーションの『暗号』となって働く。

本稿では、マザーグースが映画やテレビドラマの中で、登場人物同士、また、製作者と観客との間の共通理解を助ける役割を例証するものである。

## マザーグースが登場した映画

マザーグースが利用された映画、テレビドラマを邦題、原題、制作年度、国を次に記す。

## 1) Humpty Dumpty

- ・『コールドケース 未解決事件簿』  
ローラースケート Cold Case: Roller Girl

- ・『インクレディブル・ハルク』  
The Incredible Hulk, 2008 米

- ・『ルイスと未来泥棒』 Meet the Robinsons 2008 米

## 2) Eenie, Meenie, Minie Moe

- ・『イエスマン』 Yes man 2008 米

## 3) Mary Had a Little Lamb

- ・『ベッドタイムストーリー』 Bedtime Stories 2008 米

## 4) Something Old, Something New

- ・『バーナビー警部 38話 死を招く魔性の花』  
Midsomer Murders: Orchis Fatalis

- ・『ブライダル・ウォー』 Bridal Wars 2009 米

## 5) What are Little Boys Made of?

- ・『メンタリスト』 赤レンガの虚栄  
The Mentalist: Red Brick and Ivy

- ・『ナイト・ミュージアム2』 Night at the Museum:

Battle of the Smithsonian 2009 米

## 6) Baa, Baa, Black Sheep

- ・『NCIS ネイビー犯罪捜査班』 極秘調査船カメラ号  
NCIS: Chimera

## 7) Hush, Little Baby, Don't Say a Word

- ・『NCIS ネイビー犯罪捜査班』 レクイエム  
NCIS: Requiem

## 8) Who Killed Cock Robin?

- ・『シャッフル』 Premonition 2007 米

## 9) Oranges and Lemons

- ・『ハブニング』 The Happening 2008 米

## マザーグースの元唄

上記の映画やテレビドラマで利用されたマザーグースの元唄を次に紹介する。

## 1) Humpty Dumpty sat on a wall

Humpty Dumpty had a great fall

All the king's horses and all the king's men

Couldn't put Humpty Dumpty together again.

元は、「卵」を答えさせる謎々であったが、今では、太った人、四角い塀の上に丸いものが座っている状態から危険

な状況や危険な状態にある人、壊れてしまい元に戻せなくなったものや人を表すようになった。特に、ルイス・キャロルが『鏡の国のアリス』にハンプティを登場させたことに加え、テニエルの手になる挿絵によって人々の間に共通のイメージが定着した。

- 2) Eenie, meenie, minie, mo  
Catch a tiger by his toe,  
If he hollers, let him go  
Eenie, meenie, minie, mo

鬼決め唄の一種であり、日本の「山の神様に聞いてみましょ」と同様、自分で判断が出来ない時、運を天に任せる決断術の唄となった。

- 3) Mary had a little lamb, little lamb, little lamb

Mary had a little lamb, its fleece was as white as snow

作者不詳の多いマザーグースの中で、作者が判明している数少ない唄である。実際に、作者 Sarah Hale が生存していた 1800 年代によく見られた光景とのことである。また、エディソンが初めて蓄音機に吹き込んだ唄としても知られている。

- 4) Something old, something new  
Something borrowed, something blue,  
And a penny in her shoe.

花嫁が結婚式に身につけると幸せな花嫁となれると古くから言われるものを取り上げた唄である。

- 5) What are little boys made of?  
What are little boys made of?  
Frogs and snails  
And puppy-dogs' tails,  
That's what little boys are made of.

What are little girls made of?

What are little girls made of?

Sugar and spice  
And all that's nice,

That's what little girls made of.

男の子と女の子の違いを歌ったもの。元は、「snaps (叩きあいの音) and snails」で、男の子はできていたとされ、男の子が元気一杯で走り回ってる様子や、カタツムリ、かえる、子犬の尻尾を追いかけ捕まえる様子を伝える唄である。女の子は、素晴らしいもの、やさしいものでできていると考えられていた。

- 6) Baa, baa, black sheep,  
Have you any wool?  
Yes, sir, yes, sir,  
Three bags full;  
One for the master,  
And one for the dame,  
And one for the little boy  
Who lives down the lane.

この唄は、1275 年に輸出用の羊毛にかけられた税金のことを歌ったとされている。

- 7) Hush, little baby, don't say a word,

Papa is going to buy you a mocking bird,

If that mocking bird won't sing (後の連を省略)

この唄は、もし〜がだめならば、次にこれを買ってあげようと、泣きやまぬ赤ん坊を落ち着かせようとあの手この手を考えている親の姿が浮かぶ子守唄である。

- 8) Who Killed Cock Robin?

I, said the sparrow,

With my little bow and arrow,

I killed Cock Robin.

「誰が駒鳥を殺したの」で始まり、駒鳥の殺害から葬儀までをスズメ、蠅、牛などが登場する 14 連で歌いあげたもの。駒鳥の赤い胸は、キリストの胸から棘を抜こうとした際の返り血を浴びたためと言われ、英国で、最も愛されている鳥である。又、駒鳥を殺したスズメも愛を象徴する鳥である。

- 9) Oranges and Lemons

Says the bell of St. Clement's.

(中略)

Here comes a candle to light you to bed,

Here comes a chopper to chop off your head.

日本の「通りゃんせ」と同じような遊戯を伴った遊びの唄である。二人が両手のかかげ、他の子供達はその「門」の下をくぐる、最後の chop off your head で、門が閉じられ、そこを通りかかった子供が捕らえられ、「オレンジ」か「レモン」かのいずれかの選択を迫られ、二組に分かれていく。ロンドンの教会を列挙しているが、最後の 2 行では、囚人が死出の旅に出る様子も窺われる、奇妙な、薄気味の悪い唄でもある。

#### コミュニケーションとマザーグース

映画の中でマザーグースがどのようにコミュニケーションに使われていたかを例証する。

##### 1) Humpty Dumpty

・『コールド・ケース未解決事件簿』ローラースケート殺人事件に時効のないアメリカでは、何年も前の事件に新しい目撃情報や科学の力を借りた新しい証拠が見つかる、再調査が始まる。この物語では、フィラデルフィア警察殺人課勤務のリリー・ラッシュを中心に、5 人の仲間が活躍する。1978 年 8 月に 15 歳の少女ミッシー・ギャラパンが公園で殺された事件について、服役中の女性が刑を軽減してもらおうと目撃情報を提供し、30 年ぶりに捜査が再開される。当時死体が発見されたフェアマウント公園を訪れたジェフィリーズとヴェラは、殺害された状況を想像し、口にする。可能性として、ローラースケート場から男の車に乗った後、その男ともめ、車から逃げ出し、道路脇のちょっとした塀に躓き、下の溝の中に落ちた。頭を強打し、手足も骨折。その状況を *Humpty Dumpty* と一言で表した。

まさに、塀の上に座り、どさっと落ち、ぐしゃっと崩れてしまった情景が多く、言葉を尽くして説明するよりも、遺体の様子が目に浮かぶように鮮明にわかる表現である。

・『インクレディブル・ハルク』

ガンマ線を浴び、体に変調をきたした科学者ブルース。怒りがこみ上げ、脈拍が速くなると全身緑色になり、体も巨大化すると共に、凶暴性を発揮する。彼は、アマゾン川流域の薬草で治癒を試みながら、ブラジルのソーダ会社で働き、ネットで知り合ったミスター・ブルーに血液サンプルを送り、元に戻る薬の開発を依頼している。工場で怪我をし、彼の血液がソーダに混じり、そのまま出荷されてしまう。そのため、ブルースを追い求める軍に所在がわかってしまい、逃亡生活に戻る。元恋人の助けをかり、ブルーに出会う。ブルーは、解毒剤となる特効薬を開発していたので、ブルースはその投薬を受ける。ブルーは、送られてきたブルースの血液を病気の治癒に使おうと血液を濃縮し、サンプルをたくさん作り、動物実験を繰り返していた。ブルースは、無敵の軍隊をつくることになると反対し、血液サンプルを廃棄するようにブルーを説得している時に、軍隊がなだれ込んでくる。次の会話は、血液サンプルを巡る二人の会話である。B はブルー、H はブルースことハルク。

H: No, no, test subjects? What test subjects?

B: Come with me. .... We started on rats and mice, but it just completely fried them, we had to go bigger. We still don't know which is more toxic. The gamma or your blood.

H: What do you mean, my blood?

B: Bruce, this is all you. You didn't send me much to work with, so I had to concentrate it and make more. With a little more trial and error, there's no end to what we can do. This is potentially Olympian. This gamma technology has limitless applications. We'll unlock hundreds of cures. We will make humans impervious to disease.

H: No, no, we've gotta destroy it.

B: Wait, what?

H: All of it, tonight. We're gonna incinerate it. Is this the whole supply?

B: We could get the Nobel for this.

H: You don't understand the power of this thing. It is too dangerous, it cannot be controlled.

軍人の女性: Are you telling me you can make more like him?

B: No, not yet, I've sorted out a few pieces...but it's not like I can *put together the same Humpty Dumpty*. If that's what you're asking. He was a freak accident. The goal is to do it better.

この映画のハンプティは、超人ハルクを指しているが、そのハルクからの採取された血液をハンプティが壊れた状態のかけらだと考え、「同じハンプティを組み立てることはできない」と表現することで、完全に、お手上げであることを示唆している。

・『ルイスと未来泥棒』

生まれてまもなく母親に捨てられたルイスは、発明好きな少年へと成長した。養子を求めて施設にやってくる大人達に自分の発明品を披露するが、いつも失敗し、大人たちに嫌がられる。そして、引き取り手のないまま、13歳を迎えようとしている。ある日、学校で科学展が開催され、ルイスは母親の姿を映し出す記憶スキャナーの機械を出品することにする。製作に昼夜を問わずのめりこみ、おかげで、同室のグープは眠れず、翌日の野球の試合で凡ミスをし、みんなから疎外される。一方、小学校の科学展に、奇妙な帽子をかぶった男が現れ、ルイスの作った機械を盗む。すると、今度は、ウイルパーと言う奇妙な少年が現れ、ルイスを未来の世界へと連れていく。実は、この少年は、ルイスの未来の息子。ルイスが存在しなくなると、彼も消えるのである。未来の世界で、大人のルイスは、発明の能力が開花して、お金持ち。しかも、家族に囲まれて幸せな生活を送っていた。そこに、少年のルイスが入り込み、彼らが未来の自分自身の家族とは知らず過ごす。そうするうちに、奇妙な帽子をかぶった男が現れ、ルイスが作った機械を現代の世界で売り込みに行こうとするが、うまく作動しない。そこで、ルイスに修繕させようと追いかける。山高帽の男が少年ルイスから奪った機械を発表した後の世界は、悪がはびこっていた。ルイスは自分の未来での役割を始めて認識する。山高帽の男に少年ルイスが、What do you want? と尋ねると、答えは、To make your dreams come true. All you have to do is *put Humpty Dumpty together back again*. And we'll take you back to find your mammy.

この山高帽の男の言うハンプティは、ルイスが作った記憶スキャナーのことである。後に、この山高帽の男はルイスの孤児院でのルームメイト、グープだと判明する。ルイスが毎晩発明に打ち込んでいたため、眠れず、翌日の野球の試合での失敗以来ずっと閉じこもり、人格崩壊をきたしていたのである。ルイスは、過去に戻り、グープの失敗を成功へと変える。

記憶スキャナーは、最初の段階では成功していたが、科学展開催前に山高帽の男とその子分がビスを緩めていたために、うまく作動しなかったのである。ビスをしめつけ、きちんと作動するようにした後、山高帽の男はそれを企業に売りつけ、その結果、暗い未来が展開する。この映画では、使う人によって一つの機械が社会の状況を良くも悪くもすると警告も観客に伝えてもいる。

2) Eenie, Meenie, Minie, Mo

・『イエスマン』

銀行の貸付業務を担当するカールは、融資の申し出に「却下」の判を押し続けてきた。特に、妻に去られてから自尊心もなくし、怠惰な生活を送る。ある日、高校時代の友人に誘われ、すべてに「イエス」と言おう、という一種の教団の講演に参加する。教団の教義は、「新しい状況に対して、否定的な態度をとらず、イエスと言って受け入れ

よう」と言うものだったが、カールは誤解し、とにかく総ての問いかけに対し、Yes と答えてしまう。小額の貸付にも、「承認」の印を押したので、恵まれない多くの人々の信頼を得、貸付金の回収もうまくいくようになり、新しい恋人もできる。そして、その恋人と足のむくまま気のむくままに旅行にでかける。すると、空港で、元妻のステファニーが新しい夫と出かけるのに出くわす。次は、ステファニーとカールの会話。S はステファニー、C はカール。

S: So, where are you headed?

C: I'm meeting my girlfriend here. We don't know where we're going.

S: Really?

C: Yeah, We're just gonna pick a place, kind of an *eenie, meenie, minie* thing. Keep it fresh. I'll see you guys.

そして、発券カウンターで、最初に出発する飛行機の航空券を手にいれる。行き先は、ネブラスカ州のリンカーン。ところが、そのような行き当たりばつりの旅、その上、普通、人が観光では行かない様な場所に行ったが故に、FBI から不審者と間違えられる。その後も、紆余曲折があったが、真の意味での「イエス」のおかげで、恋人とも結ばれる。

### 3) Mary Had a Little Lamb

・『ベッドタイムストーリー』

子供が寝付くときに、聞かせる話が *Bed time stories* である。この映画のナレーターは、家族で経営する小さなホテルを所有していた。が、息子スキーターをそれ相応の地位に着かせるようにとの条件をつけ、ホテルをノッティングハムと名乗る男に売却する。しかし、スキーターは中年になってもまだホテルの便利屋のままだった。ある日、ノッティングハム氏の誕生パーティ会場の設営でマイクをテストする彼が、*Mary had a little lamb* のメロディでその歌詞をもじって歌う。次の会話は、スキーターと会場に居合わせた招待客たちとの掛け合い。

S: (マイクをこんこんと叩く) Check, check. One, two, come on. Hear me in the back? I say "Barry," you say "Nottingham." Barry

部屋にいた人たち: Nottingham.

もう一度繰り返す。

S: 歌いだす。 Barry had a Nottingham  
Nottingham, Nottingham,  
Barry had a Nottingham  
Whose beard was as white as snow.

これは、ノッティングハムの髪とひげが真っ白で、メリーの羊の毛 *as white as snow* の連想と、マイクテストの最中なので、エディソンが蓄音機に最初に吹き込んだ唄がこの唄だったことも影響しているかもしれない。

### 4) Something Old

・『バーナビー警部』 死を招く魔性の花

ミッドサマー警察署のバーナビー警部と助手が活躍する

シリーズ。家庭では、よき夫、よき父親である彼は、妻に誘われ、ミッドサマーの大邸宅のひとつで、開かれている蘭の品評会に行く。その品評会に参加していたマデリン・ピリアーズが自宅で遺体となって発見される。現場に赴いたバーナビーとパートナーのケリーは、マデリンが旅の支度をしていることに気づく。スイスへの航空券のほかに、彼女のトランクには、*Something Old* (品評会でくじで当てた古本)、*Something very new, borrowed library book, and something blue* が入っていた。今から結婚をしようとしている人が自殺をするわけではない、と警部は結論づける。犯人は、蘭の品評会で、審査員を務めていた大学教授だった。この教授は、蘭を愛するあまり、希少な蘭を所有していたマデリンを許せなかったのである。

・『ブライダル・ウォー』

映画の冒頭で次のナレーションが流れる。

It all began at the Plaza Hotel twenty years ago in the month of June. Two mothers brought their daughters, Liv and Emma, to the Palm Court for tea. And on that afternoon, there was a wedding. There was *something blue, something borrowed, and something completely magical*. And two little girls from New Jersey held in their hands a new dream that one day they would find that one person who would stand by them no matter what. And when they did, they two would have June wedding at the Plaza.

若いリブとエマの二人は、宝物の箱に、青い花のついた髪飾りをしまいこむ。長じて、二人は伴侶を見つけ結婚することになる。6月にプラザホテルで結婚式を挙げることを計画する。ところが、結婚プランナーの手違いで、同じ日に予約されてしまう。おかげで、お互い、花嫁の付き添いになれなくなったばかりでなく、二人の対立は結婚式場、共通の友人の奪い合いに発展する。しかし、最後に彼女たちの仲を元に戻したのは、幼いころ、箱に入れた *something blue* の髪留めだった。

*Bridal Wars* の10代前半の少女からバーナビー警部の初老の女性まで、結婚を前にした女性達が、古い迷信を信じていることがわかる場面である。

### 5) What are little boys made of?

・『メンタリスト』赤レンガの虚栄

メンタリストのパトリック・ジェインは、透視術で生計を立てていたが、妻子を *Red John* と名乗る連続殺人鬼に惨殺されて以来、*California Bureau of Investigation* で精神分析家として、捜査に協力している。ある日、ジェインに女性から電話が入る。ジェインが妻子を殺され不安定な精神状態の時の精神分析医からの電話であった。彼女の元夫が大学での講義中に毒をもらわれて死亡。容疑が元妻である彼女にかかったのである。この大学では、人の性格を「善」に変える実験をしていた。次の会話は、実験をしているストウツァー教授がジェインに説明をしている場面である。悪の治療法を述べる教授は、動物実験で道徳をつかさどる

morality engine を構築している。S は、ストウツァー教授、J はジェイン。

S: You are skeptical. You know what souls are made of?

J.: *Frogs, snails and puppys' tails?*

S: Humor. Good. But you know. Soul is electricity...

ジェインが女の子の本質を言わず、悪戯な男の子の本質を口にしたのは、「悪」を意識したものであったのか、唄で固定化されているように人間の本質は何をしても変わらないと主張したかったのかもしれない。

・『ナイトミュージアム 2』

ニューヨークの自然博物館で夜中に展示物が動き出す不思議な現象が起きた。その自然博物館が 2 ヶ月間、改築のため展示物をワシントンのスミソニアンに移されることになり、不思議な力を持つ「タブレット」もその荷物に紛れ込んでしまった。おかげで、スミソニアンでも、夜中に展示物が動き出す現象がおきた。悪の枢軸といわれるエジプトのカームンラー、イワン雷帝、ナポレオン、アル・カポネを相手に立ち上がったニューヨーク自然博物館の面々。スミソニアンでは、アインシュタイン、アメリカ・イアハーストが登場。主人公ラリー・ディリーは、イアハーストとともに、悪に立ち向かう。イアハーストは、ラリーに好意を持ち、彼に言い寄る。と、ラリーは、口ごもりながら、*You are made of, made of wonderful things* と答える。彼女が現代に生きている人ではないので、遠まわしに *I like you* を言ったようである。イアハーストも満足気であった。

#### 6) Baa ,Baa ,Black Sheep

・『NCIS 極秘調査船キメラ号』

海軍内でおきた様々な事件を取り扱う NCIS。今回は、海軍の調査船キメラ号で乗組員が死亡し、NCIS からギブス、トニー、ジヴァ、それに検死医のダッキーたちが航行中の船に乗りこむ。遺体を調べたダッキーは、ウィルス感染の可能性があり、全員が感染し死に至るであろうと言う。無人の船内を捜索している間、ジヴァは何かがいると感じる。船のあちこちで鼠が横行。ペストの恐怖が彼らを襲う。ジヴァは、英語が得意ではなく、以前ペストに感染したトニーが *black ship* というと、*black sheep* と発音する。船の中のバイオハザード室に入る時、トニーは、*Baa,Baa black sheep, have you any wool? Yes, sir, yes sir* と歌いながら入室する。ジヴァが船名のキメラはギリシャ神話に登場する怪物だと指摘し、死んだ鼠が見つかる、とますます不気味な雰囲気となる。政府は、キメラ号が何を捜査しているのか NCIS には告げていなかった。最後に、キメラ号は、ソビエト船が無くした爆弾の回収にあたっていたが、キメラ号に乗船していた通信士がソビエト側に通じており、ソビエトが無くし、キメラ号が回収していた爆弾を渡そうとしていたのである。

キメラは地母神ガイアと海神ポントスの孫魔女のゴルゴンの一人から生まれたギリシャ神話に登場する怪物である。Ovid の *Metamorphoses* にも次のように記されている。The

Furies cause Ino and Athamus to kill their children, driving them to madness using poisons from two famous monsters, first described by Hesiod in the Theogony. Echidna was half-woman, half-serpent who gave birth to several creatures found in later myths: the hell-hound Cerberus, the many-headed Hydra, the Chimera (part lion, goat, and serpent), the Sphinx, and the Nemean lion. (下線は筆者)

#### 5) Ring-a-ring o' Roses

・『フラッシュフォーワード』第 2 話 未来のカケラ

2009 年 10 月 6 日に、70 億の人々がいつせいに 2 分 17 秒間意識を失う。その間に人々はそれぞれビジョンを見、それが自らの未来だと信じ込む。そして、子供たちはその現象を「バラの花輪」を歌いながら、遊ぶ。みんなが *All fall down* でばたつと倒れ、それから、起き上がると、それぞれが見たものを告白しあう。しかし、FBI 捜査官の娘、チャーリーは、みんなに語ろうとしないので、仲間はずれになってしまう。「バラの花輪」は、子供が集まると自然に手をつなぎ輪になって遊ぶ唄である。子供たちが、どのような状況をも、遊びに取り入れてしまう遊びの天才である証拠を示したものであろう。

#### 7) Hush, Little Baby, Don't Say a Word

・『NCIS ネイビー犯罪捜査班 レクイエム』

特別捜査官ギブスを、若い女性が訪ね、自分はギブスの亡くなった娘の友人だったと言い、守ってほしいと訴える。身分の証として、自分とギブスの娘ケリーが幼いころに缶に入れて埋めた場所を教える。ギブスが言われた場所を掘り起こすと、確かに娘の物だった。そこで、子守唄が流れる。ギブスが娘を愛していた証であろう。*Hush, little baby, don't you cry. Papa's gonna buy you a mocking bird. If that mocking bird won't cry, Papa's gonna buy you a diamond ring. If that diamond ring turned into brass, Papa's gonna buy you a looking glass.*

娘が幼い時に、彼女を残して、戦場に赴かねばならなかったギブスが、事故で亡くなった娘をいまだに愛していることがわかる場面である。

#### 8) Who Killed Cock Robin?

・『シャッフル』

郊外に家を購入したジムとリンダの夫婦は、二人の娘に恵まれ、幸せな生活を送っていた。ある木曜日のこと、警官がリンダを訪れ、ジムが前日自動車事故で死亡したと知らせた。しかし、翌日、彼女が目覚めるとジムがいつも通りに、居間でコーヒーを飲んでいた。その後、何度か同じ事態が繰り返される。リンダにとっては、何度目かの葬儀の時、娘二人が、*Who killed Cock Robin?* を歌いながら石蹴りをしている。最初にジムの死亡通知を受けてから、一週間の曜日がばらばらに巡ってくることにリンダは気づく。この現象は、彼女にだけ起きているらしく、周囲の人たちは、彼女の気がふれたと思う。葬儀の際には、精神科医のロス医師が処方した薬も見つかるが、実際に会いに行くと、

彼はリンダと面識がないと言う。彼女は、出来事が起きた曜日を書き出してみる。すると、日曜日には何も起きていず、月曜日にはジムは生きており、火曜日に娘がガラス製のドアにぶつかって怪我をし、ロス医師に面会し、ジムも生きています。水曜日に、ジム死亡。木曜日に彼の死亡の知らせを受ける。金曜日には何もなく、土曜日にジムの葬儀。墓地での埋葬時、正体不明の女性が遠くから葬儀の様子を窺っているのを見かける。リンダは、その女性が夫の会社の部下であること、ジムと親しい関係にあることに気づく。夫が家庭を壊そうとしていたこと、彼が死ぬ直前に死亡保険金を三倍にしていたことが判明した。その夜、母親に向かって、彼女は、”If I let him die, is that the same thing as killing him?” と尋ねる。そして、日曜日。彼女は、ジムを死から救い、家庭を守ろうと決意し、助言を求め教会を訪れる。神父は、彼女の体験は聖書に登場する預言者のそれと酷似していると指摘する。そして、その夜、ジムとリンダは愛を再確認する。魔の水曜日が巡ってくる。その日、ジムは出張と偽って愛人に会いに行こうとするが、途中で思いとどまる。その彼をリンダが車で追っていた。予兆で見た標識が目にはいると、ジムに携帯電話で連絡し、戻ってくるようにと懇願する。彼は、彼女の言葉に従い、Uターンしようとするが、車のエンジンが止まり、動かない。そこに、タンクローリーが突っ込み、ジムは帰らぬ人となる。リンダが声をかけ、彼女の指示通りに行動したためにジムは死亡してしまう。”Who killed Cock Robin?” の 2 行目からの「私の弓と矢でもって、私が殺したの」の予告どおりになったのである。

この映画の原題は、Premonition。リンダが自分に起こった不思議なビジョンを牧師に訴えると、彼は、聖書の中に premonition が表記されていること、現実には未来を予知できる人が過去にいたことを語る。リンダも予知能力を持っていたのかもしれない。また、映画の最後に、リンダが妊娠していることがわかる。新しい命、希望の誕生を示唆してこの映画は終わる。

## 9) Oranges and Lemons

### ・『ハブニング』

エリオットは高校の科学の教師。ある日、蜂が突然何の予兆もなく突然姿を消してしまう現象について講義をしている間に、ニューヨークのセントラルパークで奇妙な現象が起きる。人々が突然立ち止まり、何度も同じ言葉を繰り返した後自らの命を絶つのである。やがて、その現象はアメリカ合衆国東海岸の人口の多い地域に顕著に現れた。エリオットは、妻と友人、その娘と共に、都会を後にする。疎開を初めた頃、人々は集団で行動していたが、人数の多い集団の方がこの現象に襲われるという「理論」に基づき、少人数に別れ安全な場所を求めて移動する。エリオットたちが徒歩で移動している時に、電線のない家にたどり着く。その家のポーチの軒先に吊るされている鐘を鳴らすと、ポーチの端から、“It’s for *Clement’s*. He is a retriever.”と女性

の声。彼女は、田舎の片隅で植物に囲まれ、電気のない家で静かに暮らしていた。しかし、この自然にやさしい生活を送っていた彼女にも、奇妙な現象は襲い掛かる。死を覚悟したエリオット達。しかし、この現象は、始まった時と同様突然やんでしまう。学者達は、環境を破壊している我々人間に対する植物からの警告であろうと結論づける。アメリカでは、終焉した現象が今度はフランスのパリの公園でまた始まるところでこの映画は終わる。

この現象が始まる時、木々の葉がさらさらと揺れる。目には見えないが、毒素を出しているのである。その様子は、スギ花粉が飛翔する様子と類似している。犬に *St. Clement’s* と名づけた婦人は、マザーグースの唄のとおり、最後に死刑台への道を歩んだのである。この映画の冒頭のエリオットの「蜂がいなくなった」は、カーソンの『沈黙の春』の冒頭を思いださせる。

### 直喩として働くマザーグース

中西秀男は、『この多彩な英語』の直喩の項で「A のような B」としてまず、「きらきら星」を例にあげている。辞書に出ている例、慣用句的な例もあげ、シェイクスピアのハムレットや、O.ヘンリーの作品からの例をあげ、「文学の中の simile は、独創的な表現というだけでなく、作品の内容に関係する特殊な意味を持つ場合もある。」と言う。

言葉を尽くしても、適切な表現が見当たらない時、また、相手に明確で鮮明なメッセージを伝える時、或いは、感情を隠して伝えたい時、人は、聞き手と共有するイメージを利用する。時に、それは具体的な人・物、聖人、ギリシャ神話に登場する神や出来事、古からのいい伝え、聖書の言葉や内容、シェイクスピアが作りあげた言葉である。子供部屋で培われた伝承童謡の総称であるマザーグースは、子供を慰める内容ばかりでなく、歴史を謳ったもの、子供を教育する唄なども含み、マザーグースの唄そのものや部分的な言葉が大人の世界では、コミュニケーションを円滑にするために引き合いにだされる。マザーグースが子供と大人の共有財産であるから出来ることであろう。また、長い生命力を持つマザーグースの唄は、人々の間に深く浸透しており、子供用の唄でもあるので、直喩として利用しても、聞き手を傷つけることはないであろうし、話し手の品位を貶めることはないであろう。

### 参考文献

- 1) Iona and Peter Opie: *The Oxford Dictionary of Nursery Rhymes*, Oxford University Press, 1951.
- 2) William S. and Ceil Barin-Gould: *The Annotated Mother Goose*, Meridian, 1962.
- 3) 藤野紀男・夏目康子、『マザーグース・コレクション 100』ミネルヴァ書房、2008.
- 5) 中西秀男、『この多彩な英語』北星堂、昭 48 年.
- 6) 藤縄謙三、『ギリシア神話の世界観』新潮選書、昭 46 年.

(2010 年 10 月 15 日 受理)